



豊崎本庄小学校

所在地	〒531-0073 北区本庄西2-1-16	
電話番号	06-6371-4444	
校長名	北埜 恵一	
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e511011	

教育目標

豊崎本庄小学校がめざす教育

- (1)校訓
「正しく 強く 明るく」
- (2)めざす子ども像
○自ら深く考え、正しく判断する子ども(正しく)
○最後までくじけない、元気な子ども(強く)
○明るく思いやりのある子ども(明るく)
- (3)教育目標
「豊かな心をもち、自ら学び続け、ウェルビーイングの実現をめざす子どもの育成」
～「豊かな人間性」「資質・能力」「健康・体力」～
- (4)重点目標
①【安全・安心な教育の推進】
②【未来を切り拓く学力・体力の向上】
③【学びを支える教育環境の充実】

沿革

明治 8年 8月	創立。南浜源光寺に本庄村と南浜村の組合立で南浜学校として開設
明治18年 2月	南浜学校と南長柄学校が合併し、豊崎小学校と改称
大正14年 4月	大阪市編入により大阪市立豊崎第一尋常小学校と改称
昭和16年 4月	大阪市立豊崎本庄国民学校と改称
昭和21年 4月	北豊崎、豊崎、豊崎西、三校が本校に統合
昭和50年11月	創立100周年記念式典挙行
昭和55年11月	全日本よい歯の学校表彰(連続10年間表彰)
昭和61年11月	優良PTAとして「文部大臣表彰」を受ける
平成 3年 5月	文部省体育局より「むし歯予防推進指定校」ならびに大阪市教育委員会より2年間「保健」の研究学校の指定を受ける
平成27年11月	創立140周年記念式典挙行
令和 8年11月	創立150周年記念式典挙行(予定)

学校運営に関する計画

- 【安全・安心な教育の推進】
- ・小学校学力経年調査・校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。
 - ・小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を81.5%以上にする。
- 【未来を切り拓く学力・体力の向上】
- ・小学校学力経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を81%以上にする。
 - ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。
- 【学びを支える教育環境の充実】
- ・小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。
 - ・教職員アンケートにおける「校内研修が充実していたと思うか。」に対して肯定的に回答する教職員の割合を80%以上にする。
 - ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。
 - ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 【※詳細は学校ホームページをご覧ください】

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

国語	算数	理科
64	54	52

平均正答率(%)

結果の概要・取組の成果と課題

【国語】 全国平均と比較して、「A 話すこと・聞くこと」の区分において4.4ポイント、「C 読むこと」の区分において3.8ポイント上回っており、国語科の学習がおおむね習得できている。一方「B 書くこと」の区分において、全国平均を0.6ポイント下回っており、記述式の問題形式での無回答率の多さにも表れている。児童が自分の考えをまとめたり、読み取ったことを要約したりするなど、表現する機会を設け課題解決に取り組んでいる。

【算数】 全国平均と比較して、どの区分においてもポイントは下回っており課題が見られる。基礎基本が身に付くような学習デザインや朝学や昼学を活用した学習の習慣をつけていくなど、課題解決に取り組んでいく必要がある。



「早寝・早起き・朝ごはん」といった、児童が学びに向かうための基本的な生活習慣については、最も肯定的な回答をする児童の割合が高かった。また、計画的に家庭学習を行い、しっかりと学習時間を取っている児童が多い状況から、落ち着いた環境で生活していることが読み取れた。今後は学習者用端末を活用した家庭学習の取り組みを進めていく必要がある。

学習意欲については、読書や国語の授業などが「好き」と肯定的に答える児童が多く、学習に対する意識や意欲が高いという実態が見られた。

授業については、自分の考えをまとめたり、振り返りを行ったりしながら主体的に取り組んでいるという実態が明らかになった。また、話し合い活動に関する項目について最も肯定的に回答する割合も高かった。児童が主体的に学習に取り組み、対話を伴った共同的な学習に取り組むことができていることがうかがえる。

学校生活については、全国・大阪市と比較すると、「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」といった項目で最も肯定的な回答が高く、自他を大切にすることで、学校生活を充実して過ごすことができていることがうかがえる。

国語科では、資料をもとに自らの考えを表現する場を多く設定したり、文章の要約や構造分析に取り組んだりすることで、児童の「書くこと」に関する資質・能力の向上をめざす。

算数科では、基礎基本となる知識の習得をベースに、学習に対して目的意識をもって主体的に学習に取り組むことができるように授業のデザインを考える。自分の考えを様々な形で表現する場面を設定することで、粘り強く論理的に思考する資質・能力の育成をめざす。

学校全体で、子どもの自己決定を尊重する場の設定を手立てとした、「学ぶ側の論理」を大切にした授業づくりをめざし、研修会や研究協議会を実施して児童の資質・能力を高めることができるよう取組を進めていく。また、ティーチング・エンパワメント事業を活用したり、スクールアドバイザーと連携したりして、若手教員の指導力向上に努める。

学校生活においては、自分や他者を大切にできるよさをこれからも維持しつつ、学習活動の場においては、探究的な学びを中心とした、児童が主体的・協動的に学ぶ場面を確保し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現をめざす。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (回)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力 合計点
男子	14.62	20.79	31.00	39.00	44.39	9.73	145.52	19.21	50.35
女子	14.57	20.22	39.04	37.25	36.63	9.85	144.58	13.23	54.33

結果の概要・取組の成果と課題

男子は「上体起こし」が全国よりも1ポイント上回った。また、女子は、全国よりも「上体起こし」が1.8ポイント、「長座体前屈」が1ポイント、「立ち幅とび」が2.2ポイント、「ソフトボール投げ」が0.1ポイント、「体力合計点」が0.3ポイント上回っている。課題であった「体力合計点」が、女子が上回る結果となった。質問項目「運動やスポーツをすることが好きですか」の回答状況は、肯定的な回答を見ると、全国平均が男子93.4%、女子85.8%に対して、本校は男子75.0%で、女子76.9%であった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、全国平均が男子9.8%、女子17.3%に対して、本校は、男子21.4%、女子12.5%であり、児童の運動することへの意識や総運動時間が運動能力に関係することが顕著に表す結果となった。

「なわとび週間」や「かけ足週間」などを設定し、児童が目標をたて、意欲的に運動ができる環境を整えてきた。さらに、学校全体でなわとび大会やシャトルラン大会を実施するなど、目標を設定することで、取組に対して最後まで目標達成をめざして継続して取り組む姿が見られた。また、運動場で行う際にサーキットトレーニングを行い、様々な動きを取り入れて、基礎体力の向上を図るとともに、整理体操にストレッチを取り入れ、柔軟性を高めるとともにけがの防止に努めた。さらに、休み時間の運動場では、教職員も児童と一緒に体を動かすように努めることができた。しかし、運動能力の低下(走る・跳ぶの運動など)は外遊びが減っていることにも原因があるように思われるので、休み時間にはボール運動以外に外遊びで楽しめるものを紹介するなどし、一層体力の向上に努める。今後も継続して、体育科の学習の中で、基礎体力の向上を意識した授業づくりに努める。さらに、夢授業やステップアップ事業、校長経営戦略予算を活用するなどして外部講師を招聘し、専門的な指導も取り入れていきたいと考える。今後も、児童が体を動かす楽しさや喜びを感じさせるとともに、大切さを考えさせ、児童の意欲と能力を高められる方策を調じていきたい。

標準服

男子 紺の半ズボン、紺のプレザー 白カッターシャツ
女子 紺のスカート、紺のプレザー 白ブラウス
共通 紺の帽子(校章入り) 紺の長ズボン



学校の特徴

- ☆ 創立151年の歴史と伝統に基づく地域に根差した子どもを育てる
- ☆ 一人一人の子どもを大切にする
- ☆ 「規律ある楽しい授業」を通して確かな資質・能力を育む
- ☆ 自尊感情の高い、基本的な生活習慣の確立した子どもを育てる

主な学校行事

4月	入学式 入学おめでとう集会 校区探検(3年) 学校たんけん(1年) 新体力テスト
5月	学習参観・懇談会 遠足 避難訓練(火災) 町たんけん(2年)
6月	運動会 芸術鑑賞会(5・6年) プール開き 公園めぐり(1年) 豊崎中クラブ体験(6年)
7月	防犯教室 環状線1周(3年) 個人懇談会 終業式 自然体験学習(5年)
8月	始業式
9月	本庄オータムフェスティバル 防災教室・引き渡し訓練
10月	ペア学年遠足(1～6年) 就学時健康診断 修学旅行(6年) 芸術鑑賞会(1～4年) 個人懇談会
11月	スポーツ交歓会(6年) 工場見学(4年) 音楽発表会・作品展(隔年)
12月	終業式
1月	始業式 卒業遠足(6年) 避難訓練(地震・津波) 夢授業(サッカー)
2月	入学説明会 授業参観・懇談会
3月	卒業おめでとう集会 卒業式 修了式

学校行事

入学式	入学おめでとう集会
春の遠足	学習参観

特記事項

- ・集団登校 有
- ・長寿命化改修工事を実施中(改修中に使用不可な特別教室等があります)

学校行事

運動会	運動会
修学旅行(信楽、伊勢、鳥羽)	修学旅行(信楽、伊勢、鳥羽)
自然体験学習(琵琶湖)	自然体験学習(琵琶湖)
ペア学年遠足	ペア学年遠足
防災訓練	本庄オータムフェスティバル
発表会	スポーツ交歓会
卒業おめでとう集会	卒業式